

平成30年7月豪雨に伴う崩壊地等分布図(広島県 No.48)



1. この情報は、国土地理院が7月9日から7月18日にかけて撮影した空中写真から、平成30年7月豪雨で生じたと考えられる崩壊地等を判読したものです。現地踏査は実施していないことから、実際に崩壊等のあった箇所でも表示できていない場合や、平成30年7月豪雨による崩壊地以外の箇所を表示している場合があります。

2. 崩壊地等は、崩壊地や土石流で生じた地形変化発生箇所(始点から到達地点)を表現しています。崩壊地等は、長さがおおむね50m以上のものを表しています。確認できた地形変化発生箇所の始点付近を丸で表しており、地形変化範囲を線で表現しています。

3. 崩壊地等の位置を把握するための資料で、人家等に被害の無い箇所も表示しています。

0 0.5 1 1.5 2 km

崩壊地等 地形変化発生箇所の始点	雲による未判読範囲	判読範囲
地形変化範囲		